

2026年7月20日

課題名：当院の小児・思春期・若年成人で抗がん剤投与などを受ける患者における妊孕性  
温存実施状況

◆研究の目的と概要◆

当院では、妊孕性温存の説明を受けられた患者さんを対象とし、そのうち実際に温存治療を受けられた患者さんの、精子・卵子・胚などの利用率、またお子さんをもうけられたか（挙児率）について調べています。本研究では、利用率や挙児率向上を目指し、今後のよりよい説明や診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2007年1月から、2026年6月までの間に、精子保存の説明を受けた男性の方。2019年1月から、2026年6月までの間に卵子または胚保存の説明を受けた女性の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

産婦人科初診時の年齢、性別、がんなどの原疾患診断、既婚か未婚か、未婚の場合パートナーの有無、精子/卵子/胚の保存を希望されたか

- ➡希望された場合、精子/卵子/胚が保存できたか
- ➡保存された場合、後日に保存したものを利用されたか
- ➡利用された場合、お子さんをもうけられたか

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年9月1日以降

◆研究方法◆

本研究はカルテに記載された診療情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

産婦人科 研究責任者\_\_ 本田 徹郎

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- ・研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- ・研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- ・研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明